



会長
挨拶

4月1日より(一社)岡山県中小企業診断士協会として活動開始!



岡山県中小企業診断士協会
代表理事・会長 太田 健生

平素より本会活動にご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

去る令和8年4月1日に、本会は名称変更させていただき、「一般社団法人岡山県中小企業診断士協会」として活動していくこととなりました。本会は、岡山県唯一の日本中小企業診断士協会連合会(日診連)

の全国ネットワークに加盟する組織であります。そのことを内外の皆様に分かりやすく伝えるため、全国加盟組織で名称を統一する動きとなり、本会も賛同した次第でございます。

本会は、1960(昭和35)年4月に、前身である「中小企業診断協会岡山県支部」が設立され、今年で67年目になります。一般社団法人化してからは15年目になります。元々は、「中小企業診断制度」の普及を目的とした会でしたが、現在は、その中小企業支援の中核を担う「中小企業診断士」を支援し、日本経済の活性化に貢献していくための会へと変化してまいりました。

今まで慣れ親しんできた「診断士会」の愛称が「診断士協会」へと変わり、まだまだ慣れない日々ではございますが、本会会員の中小企業支援に対する熱い思いが変わるところはありません。これからも、日々自己研鑽を行って、支援の質を高めてまいります。

今後ともご愛顧のほどをよろしくお願い申し上げます。

診断士協会トピックス

当会の名称変更について

【お知らせ】
(2026. 4. 1)

日本中小企業診断士協会連合会はブランディング戦略の一環として2024年に名称変更し、これに伴い各地区の団体名称を統一する要請がありました。このため、当会では2026年1月の臨時総会にて名称変更の手続きを行い、岡山県中小企業診断士会から岡山県中小企業診断士協会に同年4月1日より変更しました。

AI フォーラムを開催

【行事報告】
(2025. 8. 27)

ソフトバンク株式会社法人事業戦略本部 統括部長の小齊平康子氏をお迎えし、生成AIとAI Agentの進化を学びました。購買AI Agentや契約条件提案Agentなどの具体例を通じ、これらが中小企業の経営にも大きな効果をもたらすことが示されました。AIの進化は、中小企業診断士が新たなツールを駆使して中小企業支援の質を高める好機であり、その活躍の場がさらに広がることが期待されます。

中小企業診断士の日記念事業の報告

【行事報告】
(2025. 11. 5)

「中小企業診断士の日」事業として記念セミナーを開催しました。テーマは「え!そんなとこまで中小企業診断士」で、診断士の活動範囲の広さに焦点を当てました。

講演では、岡山県産業振興財団、商工会、信用保証協会における具体的な支援事例を当会員の5名が発表しました。経営改善のきっかけづくりや「伴走支援」のあり方、ローカルベンチマークを活用した対話手法などが紹介され、企業の成長を支える多様な役割と解決策が示されました。当日は、県内の支援機関や金融機関、他士業の方など70名以上にご出席いただき、盛況のうちに開催することができました。

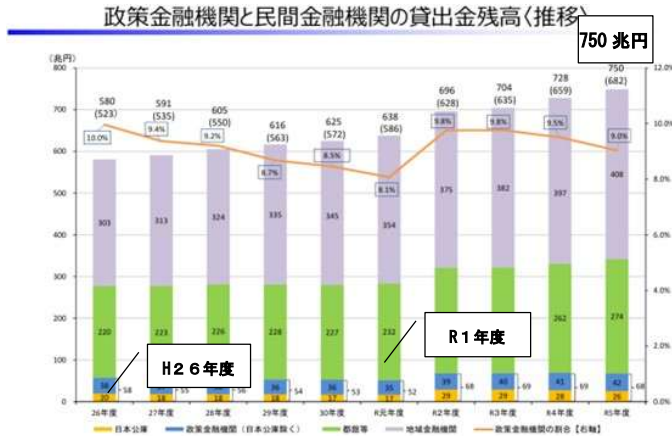


- 代表理事・会長挨拶1
- 特集「事業再生」2
- 新会員のご紹介4
- 診断士協会トピックス1
- 研究会活動報告3
- 編集後記4

特集 事業再生

岡山県中小企業診断士協会では、県内の頑張る中小企業の皆様に対する会員の助言・指導事例を毎回『特集』としてお届けします

コロナ禍以降、金融機関の貸出金残高は増加を続け、2023年度には750兆円規模に達しています。



ゼロゼロ融資をはじめとするコロナ関連融資の返済が順次始まっていますが、物価高騰などの影響により経営環境は依然として厳しく、中小企業の業績改善は進んでいません。その結果、返済が困難な状況に陥る中小企業が増加しています。このような状況を踏まえ、中小企業の経営力(稼ぐ力)を強化し、返済可能な経営体質へ転換していくことが喫緊の課題となっています。

今回は、水島信用金庫がハブとなり、複数の支援機関が連携して実施した事業再生支援の取組事例を紹介します。

支援の背景

支援先は倉敷市で鳶工事業を営む企業であり、支援開始前の経営状況は、売上高約67百万円、償却前営業利益約△9百万円、債務超過額約22百万円と厳しいものでした。

そのような状況下で、2021年に創業者の孫にあたる若い後継者候補が入社し、事業再生に取り組む強い意思を示しました。

メインバンクである水島信用金庫は、2022年に、中小企業活性化協議会の「早期経営改善計画策定支援事業」(旧称:ポスコロナ事業、現称:Vアップ事業)を活用し、事業再生に向けた経営支援を行うことを決定しました。その際、中小企業診断士である私にお声がけいただき、支援に携わることとなりました。

早期経営改善計画策定支援事業の内容と成果

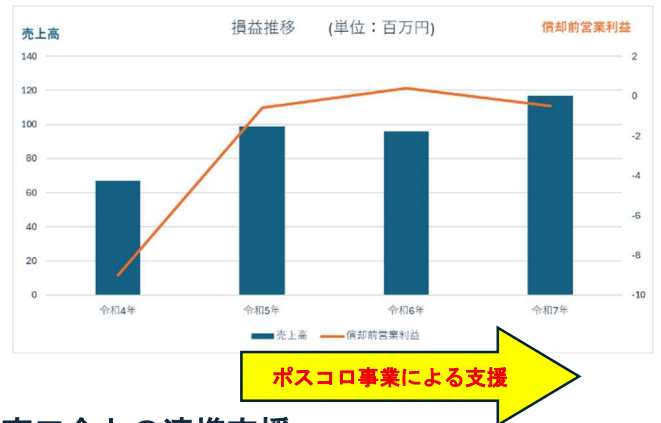
後継者候補・社員・水島信用金庫・中小企業診断士の4者で複数回協議を行い、SWOT分析、経営課題の抽出、課題解決に向けたアクションプランの策定、数値目標の設定などを進め、経営改善計画書を作成しました。

なお、中小企業活性化協議会からも助言を受け、内容のブラッシュアップを図っています。

傾聴と対話を重ねるとともに、複数の認定支援機関の知見を活用したことで、実行可能性と有効性の高い経営改善計画書を策定することができました。

その後は、6か月ごとに計2回の伴走支援を実施し、経営改善計画書のPDCA運用を支援しました。

会社が一丸となって真摯に経営改善に取り組んだ結果、業績は改善し、2023年度以降は償却前営業利益ベースで収支トントンの水準で推移する経営状況となりました。



商工会との連携支援

「早期経営改善計画策定支援事業」により、償却前営業利益ベースで収支トントンの水準まで改善しましたが、依然として借入金の返済は困難な状況にありました。

そこで水島信用金庫と協議のうえ、水島信用金庫・商工会・中小企業診断士が連携し、さらなる業績改善に向けた支援を行うこととなりました。

業務分析による実務上の問題点の抽出や、工事案件ごとの採算性の検証を連携して進め、経営課題の明確化と対応策の検討を行いました。その結果、足場をレンタルしていることが労働生産性低下の主要因であることが明らかになりました。

岡山県信用保証協会との連携支援

商工会との連携支援により、「業績改善のためには足場の購入が有効である」という結論に至りました。しかし、当時の損益状況では足場導入のための設備資金を調達することが困難でした。

そこで、岡山県商工会連合会と岡山県信用保証協会の連携事業を活用し、後継者候補が岡山県信用保証協会との面談を行い、設備資金に関する融資相談を実施しました。

その結果、水島信用金庫より保証協会付き融資で設備資金の提供を受けることができ、念願であった足場の購入が実現しました。

事例の総括

水島信用金庫、中小企業活性化協議会、商工会、岡山県商工会連合会、岡山県信用保証協会、そして中小企業診断士が連携して支援を行った結果、実行可能性と有効性の高い経営改善計画書を策定し、伴走支援を通じて多くの経営課題の解決に寄与することができました。

その成果として、まだ期中ではあるものの、支援先からは「月次の残高試算表ベースで償却前営業利益が約1百万円/月の水準まで改善している」との報告を受けています。今後も、水島信用金庫をハブとした連携支援を継続し、経営支援を引き続き実施していく予定です。

複数の認定支援機関が連携し、支援先の業績改善に貢献できることは中小企業診断士の大きな強みであり、今後もこのような連携支援を他企業にも展開し、中小企業の経営力強化に一層注力してまいります。

文：山本 浩章会員

新会員のご紹介

2025年10月以降に岡山県中小企業診断士協会に入会した新会員をご紹介します。当会には様々な専門知識を有する多数の会員が所属しており、中小企業の皆様の多様なニーズに対応いたします。



齋喜 康博

未来志向で挑む経営支援の伴走者

税理士事務所で経営支援を担当しています。製薬MR、ITベンチャー、メガバンクの経験と社労士の資格を活かし伴走支援します。ラグビーとお酒を愛する50歳でバイタリティは負けません。よろしくお願いたします。



河内 慎太郎

傾聴と言語化で企業の成長支援

現役の地元紙記者として約22年。傾聴と分析力、言語化力を強みに、企業PR・広報ならびに事業承継を主な支援領域としております。企業の皆様方の成長支援に力を尽くし、地域の未来づくりに貢献していきます。



加藤 大智

「誠実」をモットーに伴走支援を実施

私は岡山商工会議所で13年勤務し、さまざまな分野の支援を実施してきました。真心を持って話を聞き、事業所の方と信頼関係を築くことが得意です。今後とも宜しくお願致します。



光岡 敏括

経営と現場をつないでお役に立ちます

中国地方のエネルギー業界で、営業、省エネ支援、広報・ブランド、危機管理・BCP、物流、地域振興などの業務に携わってきました。経験を活かして地域の中小企業発展のお手伝いをしていきたいと考えています。



佐藤 翔平

開発から現場まで、製造業の課題を解決！

食品製造業にて生産・品質管理・商品開発・生産技術を経験してきました。利益を生む商品設計、スマートな現場改善、数字に基づく生産性向上により、課題整理から改善実行まで現場に寄り添い伴走します。



西 孝幸

経験を活かし頼られる中小企業診断士になる

2025年11月に中小企業診断士に登録しました。金融機関に勤務し、19年目になります。金融機関の勤務経験を活かし、当会員の方々との連携を深め、頼られる中小企業診断士になれるよう日々精進していきます。



蛭川 泰卓

DXで企業の効率化を伴走支援

SEとして10年以上培った経験をもとに、DXで企業の成長を支える診断士です。現場に寄り添い、未来につながる取り組みを共に育てていきます。

岡山県中小企業診断士協会のホームページにて登録会員の専門領域と専門業種及び実績などを紹介しています。是非ご覧ください。

本ページ右下のQRコードよりアクセスし「会員のご紹介」へ進んでください。
⇒okayama-shindanshi.com/list

編集後記

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。皆さまへお届けする記事を選考する中で中小企業診断士が支援機関の皆様と共に、たくさんの経営支援を行っていることを改めて認識いたしました。

紙面に限りはございますが、これからも岡山県中小企業診断士協会の活動を皆様へお伝えしてまいります。(広報委員会 亀山 友一郎)

岡山県中小企業診断士協会 会報 27号 (2026年4月20日発行)

一般社団法人 岡山県中小企業診断士協会

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル5F TEL. 086-225-4552
発行人／代表理事・会長 太田記生
編集人／広報委員会 亀山友一郎

